

告 辞

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。そして、九年間の義務教育の全課程を修了されたことに、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、今、人生の節目となる中学校の卒業に臨み、共に過ごした仲間や先生方、支えてくださった保護者や地域の皆さんと、それぞれの思いを胸に学び舎から旅立ちの時を迎えています。

皆さんの中学校生活は、どのようなものだったでしょうか。入学してまだ間もない頃は中学校生活への期待や不安が入り混じる時期もあったと思います。それでも心を強く持ち、仲間と知恵を絞って日々の学校生活に向き合う中で、皆さんは喜び、感謝の気持ちを持って授業や諸行事、部活動などに全力で取り組んできたことでしょうか。このように仲間と力を合わせて三年間を充実させてきたことに自信を持ってほしいと思います。また、共に学び、共に成長してきた仲間たちとの思い出は一生の宝です。きっと卒業しても同じ中学校の大切な仲間として、中学校生活の思い出を語れるときが来るでしょう。学習や文化活動、スポーツ活動を通して得たこの経験は、皆さんの今後の成長を支える大きな礎となって背中を押してくれると信じています。

さらに、これまで大切に育てて下さったご家族や地域の方々、学校の先生方、一緒に学んだクラスや部活動の仲間など多くの支えによって今の自分があることを忘れず、支えてくれる方々への感謝の気持ちを大切に今後に生かしてほしいと思います。

さあ皆さん、義務教育を終え、これからはそれぞれ自分の道を歩み始めることとなります。困難なこともあるかもしれませんが、自分自身を信じて、一步一步前進して行ってください。未来には無限の可能性が広がっています。自分の夢や目標に向かって勇気をもって進んでいくことを願っています。そして、いつの日か地域の担い手としてよりよい社会づくりに向けて活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、子供たちの学びをご支援くださりありがとうございました。深い愛情と忍耐を持って伴走なさっただけに、本日、義務教育を立派に終えられ卒業証書を手にしたお子様をご覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。これからも、お子様の未来を応援し続けていただければと思います。

結びに、これまで熱心にご指導いただきました校長先生をはじめ教職員の皆様、本市の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げますとともに、南城市立玉城中学校のますますのご発展と、卒業生の皆さんのあふれる希望と更なる飛躍を期待いたしまして、告辞といたします。

令和8年3月7日
南城市教育委員会
教育長 具志堅 兼栄